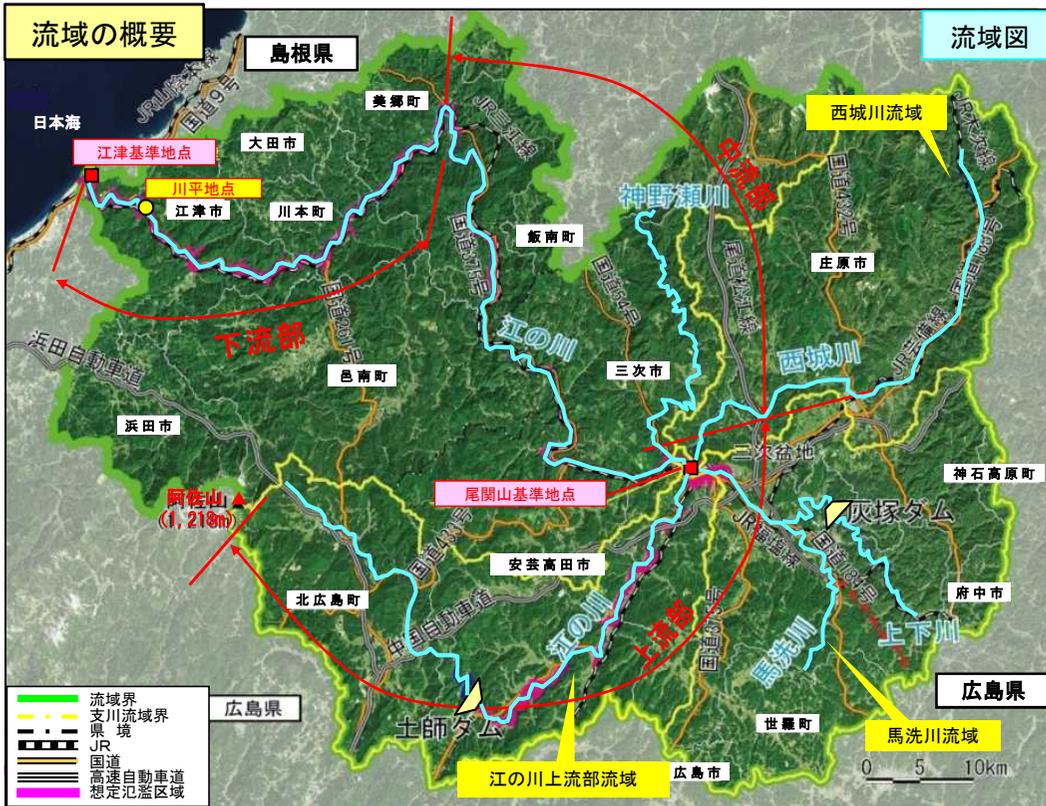
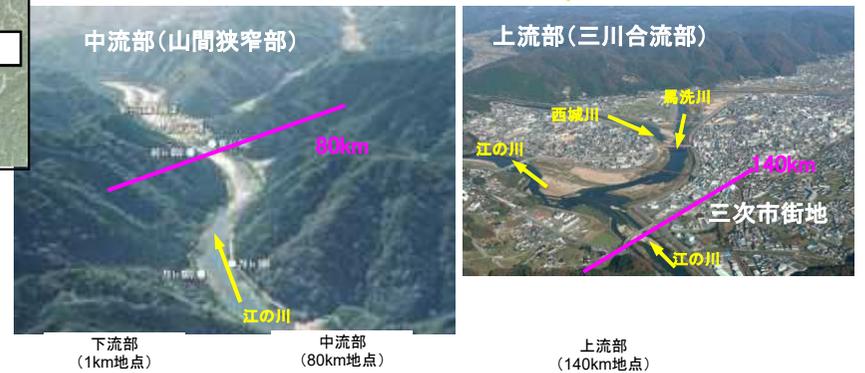


江の川の概要

- 中国山地を貫流し、広島・島根の2県をまたぐ中国地方最大の河川、別名「中国太郎」と呼ばれる。また、上流の三次市街地部で、直轄3河川が合流する。
- 河口の狭小な沖積平野(江津市街地)と上流盆地(三次市街地)に人口資産が集中し、その間の中下流の山間狭窄部は河岸段丘に小集落が点在する。

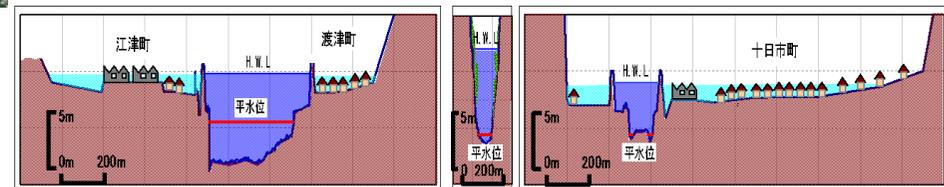


- 両県の流域面積は上流部に当たる広島県が2,640km²、中下流部の島根県が半分以下の1,260km²となっている。
- 島根側では降雨が少なくても、広島側で降った雨が中下流部で氾濫を起こすことがある。



流域面積(集水面積)	: 3,900km ²
幹川流路延長	: 194km
流域内人口	: 約19万人
想定氾濫区域面積	: 105km ²
想定氾濫区域内人口	: 約5万人
想定氾濫区域内資産額	: 約1兆2,523億円
主な市町	: 島根県江津市、川本町、美郷町、 彦南町 広島県三次市、安芸高田市、 庄原市

※河川現況調査(H22基準)より



過去の洪水被害

江の川では過去にその流域において、度々水害による被害を引き起こしてきました。戦後に発生した主要な水害は昭和20年9月の枕崎台風、昭和40年6月、7月洪水、昭和47年7月の梅雨前線による洪水があります。中でも昭和47年7月の洪水は大災害となり戦後最大の規模となりました。

その後については昭和58年7月洪水、近年では平成30年7月及び令和2年7月洪水においても浸水被害が発生しています。

洪水発生年	原因	江津(川平)		尾関山		被害状況 (暫定値を含む)
		2日雨量(mm)	流量(m ³ /s)	2日雨量(mm)	流量(m ³ /s)	
昭和47年7月12日	梅雨	362	約10,200	346	約6,900	家屋全半壊・一部破損: 3,960戸 床上浸水: 6,202戸、床下浸水: 7,861戸
昭和58年7月23日	前線	202	約7,500	158	約4,600	家屋全半壊・一部破損: 206戸 床上浸水: 1,115戸、床下浸水: 2,402戸
平成18年7月19日	梅雨	177	約6,700	149	約3,400	家屋全半壊・一部破損: 0戸 床上浸水: 8戸、床下浸水: 145戸
平成30年7月6日	前線	313	約8,800	348	約6,400	家屋全半壊・一部破損: 0戸 床上浸水: 340戸、床下浸水: 210戸
令和2年7月14日	前線	175	約6,700	187	約5,100	家屋全半壊・一部破損: 0戸 床上浸水: 88戸、床下浸水: 38戸



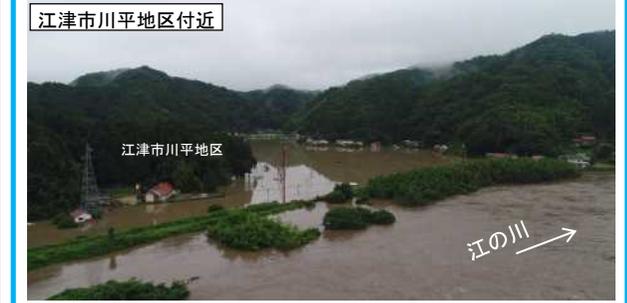
■近年の浸水被害(島根県側)

- 江の川水系河川整備計画に位置付けられた65地区のうち47地区において、近年2度(H30.7、R2.7)の浸水被害が発生し、そのうち15地区では**家屋浸水被害**が発生。
- 次期出水期に備え、洪水時の水位を下げるための**樹木伐採**や**河道掘削**を実施中。

令和2年7月豪雨による浸水状況



平成30年7月豪雨による浸水状況



位置図

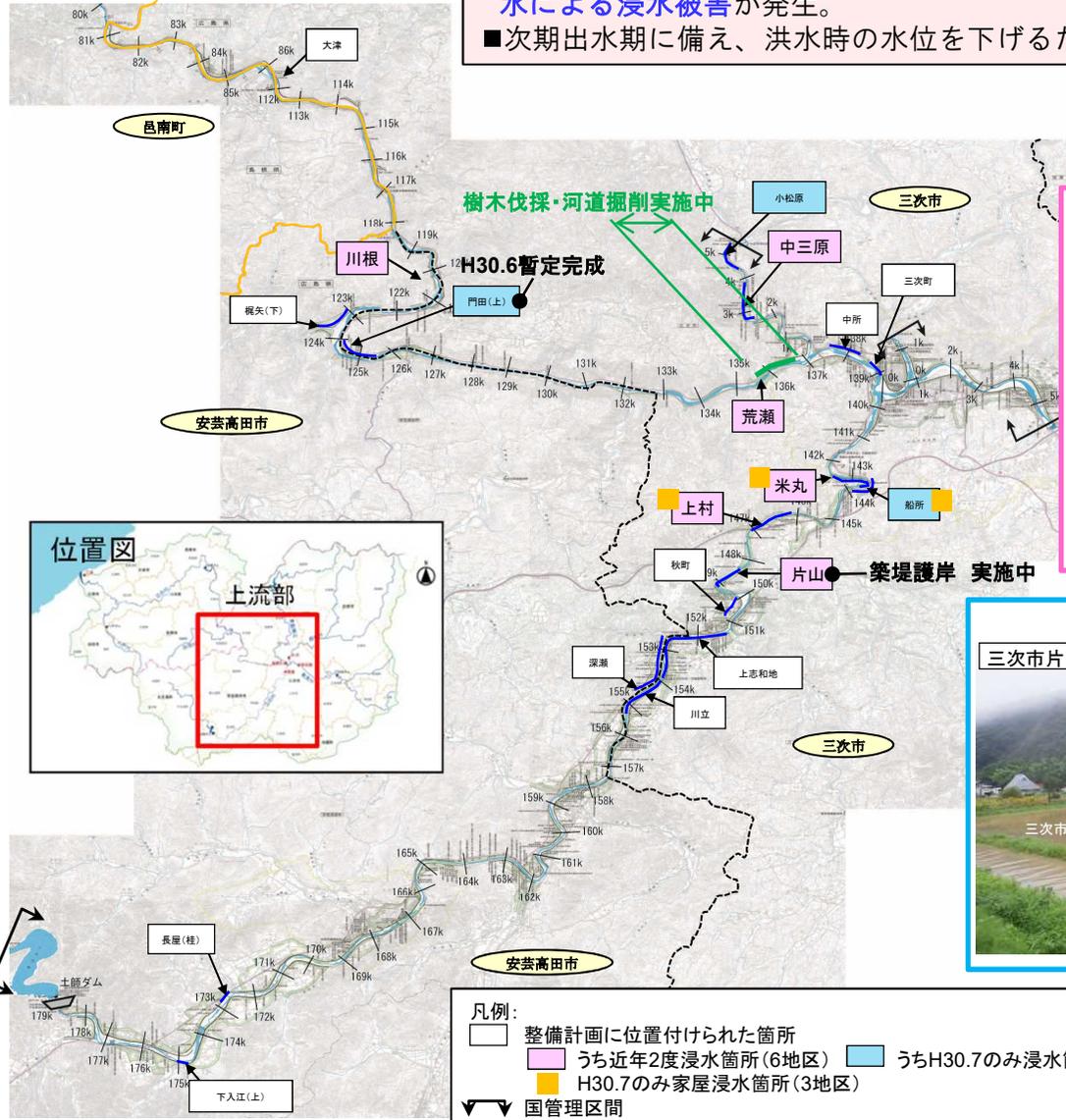


- 凡例:
- 整備計画に位置付けられた箇所
 - うち近年2度浸水箇所(47地区)
 - 近年2度家屋浸水箇所(15地区)
 - うちH30.7のみ浸水箇所(8地区)
 - H30.7のみ家屋浸水箇所(15地区)
 - 国管理区間
 - 県境

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

■近年の浸水被害(広島県側)

■江の川水系河川整備計画に位置付けられた19地区のうち6地区において、近年2度(H30.7、R2.7)の外水による浸水被害が発生。
 ■次期出水期に備え、洪水時の水位を下げるための樹木伐採や河道掘削を実施中。



凡例:
 □ 整備計画に位置付けられた箇所
 ■ うち近年2度浸水箇所(6地区) □ うちH30.7のみ浸水箇所(3地区)
 ■ H30.7のみ家屋浸水箇所(3地区)
 ▼ 国管理区間
 — 県境

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。